

6 教育研究等

(1) 訪問教育・重度重複障がい児担当教員研修会

ア 趣旨

障がいの状況等により通学して教育を受けることが困難な児童生徒に対し、家庭、福祉施設、医療機関等を訪問して行う教育を担当する教員や、重度重複障がい児を担当する教員等の専門性の向上を図り、訪問教育及び重度重複障がい児に対する支援の充実に資する。

イ 参加者 47名

ウ 期日 令和元年8月7日(水)

エ 会場 総合教育センター

オ 研究内容

(ア) 実践発表

子どもとの生活づくりの事例・教材教具・実践

(イ) 講演会

「医療的ケア児等の卒業後の暮らしを描きましょう」

講師 信州大学医学部新生児学・療育学講座特任助教 亀井 智泉 様

(2) 公立高校特別支援教育地区別協議会

ア 目的

高等学校における校内支援体制の充実と地域連携による実践力の一層の向上を図ること。

イ 参加者

高等学校特別支援教育コーディネーター・発達障がい者サポートマネージャー
特別支援学校教員

ウ 実施状況

地区	第1回実施日	第2回実施日	会場	参加者数
下伊那	5月13日	1月24日	飯田女子高校	12
上伊那	6月21日	1月28日	箕輪進修高校	17
上小	6月28日	なし	東御市中央公民館	10
長水	7月18日	なし	中条高校	17
更埴	7月22日	なし	坂城高校	14
高水	7月23日	なし	下高井農林高校	10
木曾・松塩	9月18日	1月31日	松本筑摩高校	23
安曇	9月24日	なし	大町岳陽高校	12
諏訪	10月29日	なし	諏訪教育会館	11
佐久	なし	なし		

エ 研修内容

- ASDの生徒への対応
- SCやSSWとの連携、特別支援学校への相談事例
- 学校独自の引継シートやアセスメントシートの活用
- 相談室の体制、欠席規定の扱い方

7 進 路 指 導

(1) 中学校特別支援学級進路指導研修会

ア 趣 旨

中学校の特別支援教育担当教員を対象に進路指導の基礎的研修を行うことを通して、進路指導にかかわる実践的指導力の向上を図る。

イ 参加者 中学校特別支援学級担任等 31人

ウ 期日及び会場 令和元年8月29日(木) 長野県総合教育センター

オ 内 容

(ア) 講義「長野県の現状」「進路指導の基本」

(イ) 実践発表

(ウ) 演習「自己理解と人間関係づくりについてのSST」

(エ) 情報交換とパネルディスカッション「テーマ：進路指導をすすめる上で大切なこと」

8 障 が い 児 (者) 理 解

(1) 交流教育提携校

特別支援学校と88校の保育所・幼稚園、小学校、中学校、高等学校等とが提携し、通常の学習、運動会などの学校行事や、児童、生徒会の活動などを通して交流した。

9 特 別 支 援 教 育 就 学 奨 励 費

特別支援学校に就学する児童・生徒の保護者に対して、経済的負担を軽減する目的で、特別支援教育就学奨励費を支給した。 289,491,688円 (国庫1/2以内 144,742,463円)

10 学 校 評 議 員

平成14年度から特別支援学校に学校評議員制度を導入した。

1校当たり5～9名程度 全18校に設置